

いろ 色、咲かせるプロジェクト

(八女地区の障がい児・者によるアート作品展示、販売プロジェクト)

しんきかく 新企画！！
かいさいけつてい 開催決定！！

いろ 色、咲かせるプロジェクト
だい かい 第1回、まごころ繋がるアート展



かいさいきかん 開催期間: R7年5月26日(月)13時
ねん がつ にち きん じ まで
~R7年6月13日(金)13時まで

てんじばしょ 展示場所: 八女市役所1階 情報の町屋(展示区)

今後、「色、咲かせるプロジェクト」という名称で八女地区の障がい児・者のアート作品の展示、販売会を開催していきます。記念すべき第1回目は、八女市役所1階の展示スペースにてアート作品の展示会を行います。個性豊かな作品が沢山並びますので、みなさま、ぜひお越しください！お待ちしております！

れいわ 令和7年度

リーベル「おしゃべり箱」

~障がい児をもつ親のサロン~

時間 : 10:00~12:00

場所 : 地域活動支援センター かたろい

(住所 : 八女市本町114番地)

日程 : 5/12(月)・6/9(月)・7/14(月)

9/8(月)・10/20(月)・11/10(月)

12/8(月)・1/19(月)・2/9(月)・3/9(月)

障がいを持つ児童さんのご家族がお互いに悩みを

分かち合い、共有し、連携することで

互いに支えあうことを目的としています。

参加は自由です。お気軽にお立ち寄りください。

6月・10月・2月は岸良至先生(一般社団法人わ・Wa・わ理事長)をお呼びしての座談会を予定しています。

編集後記

季節が夏に近づき段々と暑くなっていく中、皆様いかがお過ごしでしょうか。隣の作品はかたろい利用者さんが製作されたオリジナルキャラクターです。紙面上部の『色、咲かせるプロジェクト』でも多くのアーティストの作品が展示されています。皆様に見てもらえると嬉しいです。



カーター&ロイ

だい 第59号 NPO法人リーベル

れいわ 令和7年 6月 吉日



リーベル通信

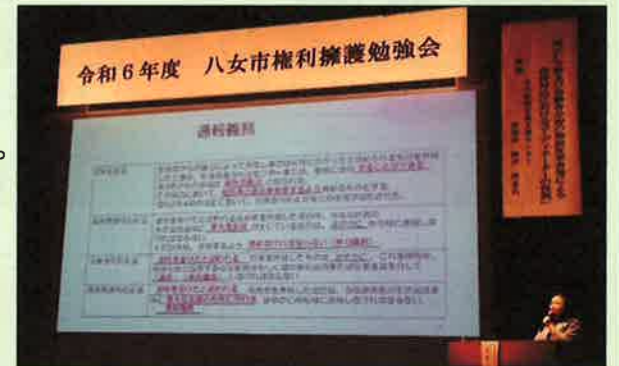


はつこうせきにんしゃ 発行責任者: NPO法人 リーベル
でんわ 電話: 0943-22-2610
FAX: 0943-22-2664

じゅうしょ 住所: 八女市本町17-2
E-mail: liber-yame@marble.ocn.ne.jp
URL: http://liber-yame.net

けんりょうごべんきょうかい ~権利擁護勉強会~

令和7年3月18日(火)におこなった八女はちひめホールにて木の香園児童支援センター管理者の岡田理恵氏をお招きし、障がい分野・高齢分野で初めての合同勉強会を開催しました。障害分野からは相談支援専門員、就労継続支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障がい者支援施設やグループホームのスタッフなど50名、高齢分野からは地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員、介護支援専門員、しゃがいふくしし 社会福祉士など29名の合計79名参加がありました。



研修の目的である①障害者虐待防止法・高齢者虐待防止法の理解及び対象者の持つ権利を理解する。②施設従事者等による障がい者・高齢者虐待の防止及び対応における、コーディネーターの役割及び責務について理解する。を念頭に動画を視聴し、個人ワーク・グループワークを通じて、人としての「権利」や「虐待」の定義、通報義務、各種虐待防止法の対象範囲等を学びました。最後にグループごとのフリートークを行い、障がい分野と高齢分野の交流も兼ねて様々な意見交換を行いました。

その後のアンケートでは「今回の講義内容はご自身にとって役立つものでしたか」の項目に、ほとんどのの方が「はい」と回答されていました。高齢分野からは「障害福祉の方と交流ができて良かった。障害福祉の知識も身につける必要があると感じた。虐待は芽が小さいうちに摘めるように対応したい。」「高齢者の視点と障がいのある方に対する視点が違うことを改めて感じた。」というコメントと、障がい分野からは「虐待の芽に気づくこと、容認しないことが大事だと思った。改めて自分の振る舞いも見返そうと思う。」「再度、虐待に対する働き方、対応の仕方を再認識できた。コーディネーターとして自身の動きを再確認したいと思う」などのコメントがありました。最後に今回の研修で障がい分野・高齢分野におけるコーディネーターは権利擁護の要であると自覚を持つこと、不適切なケアの段階で虐待の芽を摘む取り組みが大切であることを改めて確認することができました。

~障がい者が虐待を受けたり、受けている所を目撃した際はお電話ください~

八女市障がい者虐待通報ホットライン ☎090-2580-0294 (24時間・365日の対応)



令和6年度八女市障がい者基幹相談支援センター活動報告

【相談支援を利用されている障がい者等の実人数と内訳】 ※障害種別は重複あり

障害種別	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳	その他
障がい者 【実人数:300名】	41名 (13%)	1名 (0%)	106名 (33%)	144名 (45%)	14名 (4%)	1名 (0%)	14名 (4%)
障がい児 【実人数:56名】	3名 (5%)	1名 (2%)	13名 (22%)	3名 (5%)	25名 (43%)	0名 (0%)	13名 (22%)

(その他…障害者手帳未所持や診断名がない方)

【支援方法】 全3,980件

訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	関係機関調整	個別支援会議
357件	371件	299件	990件	170件	1,913件	160件

【支援内容】 全4,536件

福祉サービス	障害や病状の理解	医療・健康	不安の解消・情緒安定	保健・教育	家族関係・人間関係
1866件	52件	570件	355件	105件	240件

家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	住宅	その他
493件	258件	305件	78件	53件	117件	44件

<実人数について>

- ・実人数は、356名。前年度より40名増加。新規相談者は、94名。前年度より17名増加。児童は、29名。
- ・障害種別の相談も例年通りで、精神障害の割合が一番多い。
- ・支援方法や支援内容については、前年度より支援方法は280件増加。支援内容は前年度並み。

<相談内容について>

福祉サービスの利用に関する支援が1番多く、大人では全体の38%、児童では全体の67%と児童では大半がサービスの相談である。

大人では健康・医療に関する支援、家計・経済に関する支援、不安解消に関する支援の順になっている。サービスについては、就労の相談が多く、近年、人と関わるのが苦手で、在宅就労支援の相談が増えてきている。医療については、精神科へのつなぎや中断しているケース、病識がなく家族が疲弊しているケース等多岐に渡り、本人、家族、医療機関等と連携しながら支援を行っている。

ひきこもり傾向のケースも多く、他機関と定期的な訪問を継続しながら、関係性を構築している。ゲームに興味がある方には、地域活動支援センターかたろいの活動である「e スポーツ企画チーム」への参加を呼びかけ、社会参加のきっかけ作りをサポートしている。

年々、児童のサービス申請件数が増加しており、適切なサービスの利用を行うために、利用の目的を確認し、福祉サービス以外の、療育支援事業の活用なども提案し、児童にあった支援を保護者と協議している。利用者増に伴い、事業所も増えているが、空きを探さないといけない状況がある。少数ではあるが、中高生の利用の相談もあり、小学生中心の事業所にはマッチできずに市外の利用に至っている。また、不登校の児童の相談もあり、サービス以外に地域で何ができるか日々模索している。毎年、年長児の保護者から小学校の選択やサービスの相談などが、基幹や計画相談にもあり、特別支援学級や通級指導教室の違い、放課後の過ごし方を知りたいとの意見が多いため、今年度は、「小学校入学に向けた説明会」を開催予定としている。

リーベルネットワーク会議

リーベルネットワーク会議を3月14日(金)に開催しました。毎回年度末に開催しており、八女市の障がい福祉に関わる事業所や関係機関など約50名が集まって話し合いを行いました。

報告事項として、『部会活動』『自立支援協議会』『障がい当事者の作品展および販売会「色、咲かせるプロジェクト」』『就労支援事業所の意見交換』『八女地区障害者地域生活支援拠点当事業』についての報告をしました。

協議事項として、「事業所における事故(アクシデント)の対応と、次年度の研修企画」についてグループに分かれて意見を出し合いました。「送迎を行うので、車を運転する職員にはヒヤリハットの研修を定期的に行っている」「重大インシデントだけでなく、些細なことでも行政に報告を行うようにしている」など利用者や職員を守ることに繋がることへの意見が多く挙がりました。研修企画では「スマホなどによる身近なネット犯罪」「生徒の不登校に関わること」「精神的に不安定な保護者への支援方法」など様々な意見をいただきました。いただいたご意見は、今後の研修企画に活かしていきます。



ペアトレ・ティートレ報告

令和6年度はペアレント・トレーニングに4名、ティーチャーズ・トレーニングに市内にある全放課後等デイ事業所から14名の方に受講していただきました。受講者の声を少しご紹介いたします。

～ペアレント・トレーニング～

- ・家庭ですぐに実践できる内容なので、継続してできるよう、心がけたいです。親が変わらないと子どもも変わらないと改めて教えていただけたと思います。
- ・自分自身を見直すきっかけになりました。息子のためと思って参加を始めたペアトレでしたが、娘たち、そして私自身が一番だったと思います。参加してよかったです。

～ティーチャーズ・トレーニング～

- ・今回名前をあげた子が、受講する前と後ではできることも増え、ほめると嬉しくてほほえむ、手でのグッドサインもしてくれるようになりました。
- ・参加前は子供をほめることは少なく、子どもと楽しく遊び、笑顔をよく意識し、大切な時には怒ってという支援をしており、怒った日は嫌な一日だったというイメージで終わっていましたが、参加してからは自分の選択肢も増え、怒らなくても正しく導く方法を知ることができて私自身がきつくないやり方があるというのを知ることができて心が豊かになりました。

『かたろい』からのお知らせ



野球観戦!

みんなで飛ばすジェット風船
楽しかったです



きいろんデイ★
黄色を身につけ

来所していただきました



電車での旅!

大宰府天満宮で
食べ歩きを楽しみました

ごあいさつ

やめしけんこうふくしぶちょう
八女市健康福祉部長
けんふくしじむしょちょう たいら たけふみ
兼 福祉事務所長 平 武文



この4月から八女市の健康福祉部長を務めます。福祉をはじめとして道路や教育、産業などいろいろな分野の仕事をしている市役所ですが、私は福祉分野の経験が少なく、これからは毎日、多くのことを勉強しながら仕事をしたいかならないと、自分に気合を入れているところです。

さて、福祉の仕事をしていると「支援」という言葉にたびたび出会います。これは、「困っている人に力を貸して助ける」という意味の心のこもった言葉です。ただ、この支援という行いを「受ける人」と「提供する人」に分け固めたとたんに、上下関係をイメージさせるとどこか冷めた言葉に変わってしまうような気がします。

このまちに暮らすすべての人々が、それぞれの個性に応じた役割を担い、互いに支えあう「共生のまちづくり」。微力ながら私もこの仕事を通してそんなあたたかい地域づくりの一助になればなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

～八女市の福祉窓口担当者の紹介～

八女本庁



黒木支所



上陽支所



星野支所



矢部支所



立花支所



～NPO法人リーベルの紹介～

八女市障がい者基幹相談支援センター



つみ きんのう うしじま もり おおが
堤・金納・牛嶋・森・大賀
やまむら おおつか ちよう つるた
山村・大塚センター長・鶴田

相談支援事業所 リーベル



やまむら つみ にしむら おおつか ちよう
山村・堤・西村・大塚センター長
の
矢野

八女地区障害者地域生活支援拠点センター すいれん



おおいけ かみよこやまふくしかいしよぞく にしむら
大池(上横山福祉会所属)・西村

地域活動支援センター かたろい



おおつば いちやま おおが うしじま
大坪・市山・大賀・牛嶋

退職のお知らせ

リーベルが清水町商店街にあった頃から数えると、10年以上勤務していましたが、3月末をもってリーベルを退職いたしました。お世話になった皆様には十分なお挨拶ができなかったことが心残りですが、皆様から励ましの言葉や多くの温かいお言葉をいただき、心より感謝しています。またいつか地元八女の福祉に貢献できればと考えております。本当にありがとうございました。(井手口 大剛)

☆☆☆ホームページのご案内☆☆☆

当法人のホームページでは、八女地区の福祉事業所の情報や空き情報、地域からのお知らせ、会議や研修報告等、様々な情報を発信しています。ぜひ、ご活用ください！

事業所の情報や空き状況に変更があった際は、お知らせください

